

## オンライン授業に必要な機器や通学前の準備について

東京大学教養学部

2021年3月17日

ここでは、新入生の皆さんが2021年度Sセメスターで授業を受けるにあたり、準備しておいていただきたい機材や、通学前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2021年3月現在の情報をもとにしてはいますが、今後の更新については前期課程のウェブサイト

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/zenki/>

や教務課からのメールで周知されますので、見落としのないよう気をつけてください。

### ● パソコン

ほとんどのオンライン授業は、ZoomやWebexなどのオンライン会議システムを使って行われます。タブレットやスマートフォン等の携帯端末でも受講はできますが、画面が小さく、また授業中の出欠登録や質問、課題やレポート作成のために文字を打つ場面が多いため、11インチ以上の画面サイズのキーボードの付いたノートパソコンが良いでしょう。対面授業に出席するためにキャンパスに登校し、その前後にキャンパス内の教室でオンライン授業を受けることもありますので、軽く、バッテリー駆動時間も長いものを推奨します。

以下に参考のためのスペック表を示します。ただし、いずれかの項目がこれより劣っていても、オンライン授業を受けられないということではありません。あくまで自分が既に持っているパソコンが使えるか確認したり、また新しいパソコンを購入する際の目安にしてください。

	既に持っている場合	新規に購入する場合*
OS	Windows 10 または MacOS 10.14以降	Windows 10 または MacOS 11.0以降
CPU	Intel Core i3 以上	Intel Core i5 または Apple M1 以上
メモリ	4GB以上	8GB以上
記憶装置 (ストレージ)	HDD 256GBまたは SSD 128GB以上	HDD 512GBまたは SSD 256GB以上
ネットワーク	無線LAN Wi-Fi 4以上に対応 (IEEE802.11a,n以上に対応)	無線LAN Wi-Fi 5対応 (IEEE802.11ac対応)

ディスプレイ	11インチ以上	
入力装置	物理キーボード(脱着式・分離型でも可)	
バッテリー駆動時間 (カタログ上の記載)	8時間以上	15時間以上
外部インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘッドホン、マイクが利用できること</li> <li>・カメラが利用できること</li> </ul>	

\* パソコンの新規購入に関しては東京大学消費生活協同組合の「駒場モデルパソコン」サイト

<https://www.utcoop.or.jp/start/pc.html>

や東京大学消費生活協同組合『東京大学生協入学準備ガイドブック2021』pp. 38-39およびpp. 40-41(本ガイドブックを入手するには、<https://www.utcoop.or.jp/start/form.html>から申し込んでください)を参考にしてください。

- インターネット環境

できるだけ高速の、通信容量の上限が大きいインターネット環境を用意してください。固定回線が望ましいですが、モバイルWi-Fiルーターでも構いません。Zoomの視聴には1Mbps程度以上が望ましいとされています(より低速でも接続できますが、画質が制限される場合があります)。

容量制限のある契約の場合には注意してください。あくまで一つの目安ですが、90分授業をZoomで視聴した場合、通信データ量は100~300MBになるという試算があります(授業の形態や回線速度によっても変動します)。前期課程生の履修科目数として平均週15コマというアンケート結果に基づくと、月に6~20GBの通信量に相当します。他にもレポートや手書き答案の画像のアップロードによる提出や、オンデマンド教材のダウンロードなどもありますので、50GB/月以上が望ましいです。

- イヤホンやヘッドホン、マイク、ヘッドセット

キャンパス内の教室でオンライン授業を受けるときは、イヤホンやヘッドホン、ヘッドセットを使用し、他の人の迷惑にならないようにしてください。パソコンに付属のマイクでも音声は拾えますが、どうしても大声を出しがちですし、また教室ではマスク着用が必須ですので、くぐもった声を拾うためにも口元に近いマイクが必要です。新しく購入する場合は、マイク付きのヘッドセットが便利です。

- 入構申請

駒場キャンパスに入構する際は、必ず入構申請サイト

<https://select-type.com/rsv/?id=kDRuRchp5I4>

から、入構時間・目的・体調等を登録してください。登録後に自動返信されるメール画面を学生証とともに正門の担当者に提示することにより、入構できます。

入構にあたっては、必ずマスクを着用してください、また、密にならないこと、大声で話さないことを留意し、必要以上に長時間キャンパスに滞在しないようにしてください。

また万が一の感染者発生時に、皆さんが濃厚接触者に該当するかを速やかに判定してPCR検査等を受けられるようにするために、必ずスマートフォンに新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をインストールし、Bluetooth機能をONにしてからキャンパスに入構するようにしてください。

- 混雑状況モニタリング

教養学部では、教室の混雑状況をモニタリングするために、COCOAのBluetooth信号を検出するセンサー（NAMIHEI）を教室に設置しています。詳細は下記を参照してください。

<http://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/jikanwari/2020A/3mitsusensor.pdf>

測定結果は以下のサイトで閲覧でき、皆さんが空いている教室を探す参考に使うこともできます。

<http://sensors.nakao-lab.org/table/komaba>

その他にも、教室に設置されたビーコンからの電波をスマートフォンで検出し、自動的に記録された居場所を後に自分で閲覧できるアプリ（MOCHA）

<https://mocha.t.u-tokyo.ac.jp/>

も利用できますし、教室のWi-Fiアクセスポイントの位置と接続PC数がリアルタイムで閲覧できるサイトも開発中です。

- オンライン授業を受講する教室

キャンパス内でオンライン授業を受講する際は、授業で使っていない空き教室を探して自由に使うことができます。ただし、情報教育棟と10号館の教室は入構申請サイトからの予約制となっています。情報教育棟の全教室と10号館の教室のうち2教室には、ECCSアカウントで使えるデスクトップ型パソコンが設置されています。また、情報教育棟と10号館の教室では使用可能な座席の周りにパーティションが設置されており、いくつかの教室では語学の授業などでの発声が可能となっています（どの教室が発声可などの詳細は予約サイトに掲示されます）。

その他の教室では、出欠確認や質問などのための短時間の発声は問題ありませんが、基本的に静寂を保ってオンライン授業を受講することになります。

対面授業が指定された初修外国語の授業でも、事情により先生が教室外からオンラインで講義し、皆さんは教室で各自のパソコンを使って受講する場合があります（コールセンター方式と呼んでいます）。このような場合でも、原則として指定された教室で受講するようにしてください。